

SHINSHU
SUZAKA
2024.7.1

須坂町の 町並み だより

No.25

須坂市須坂伝統的建造物群保存地区シンポジウムを開催します！

須坂市では、これまで重要伝統的建造物群保存地区(以下、重伝建地区)の選定に向けて手続きを進めてきましたが、本年5月に選定の答申がされました。今後官報告示を経て正式に重伝建地区へ選定されます。

これを記念してシンポジウムを開催いたします。重伝建選定はスタートラインにとらえ、より一層伝統的建造物を活かしたまちづくりを推進していくため、これからのまちづくりについて一緒に考えましょう。申し込みや参加費など不要ですのでお気軽にご参加ください。

1 シンポジウムについて

○日時

2024年7月28日(日曜日) 13:00~16:30

12:30	開場・受付開始
13:00	開会
13:20	基調講演
14:10	基調講演
15:15	パネルディスカッション
16:30	閉会



○場所

須坂市生涯学習センター 3階

○内容

(一) 基調講演

- ① 西村 幸夫 氏 (國學院大學観光まちづくり学部学部長・教授)
- ② 土本 俊和 氏 (信州大学工学部教授 伝建保存審議会会長)

(二) パネルディスカッション

重伝建選定へのこれまでの取り組みや、保存対策調査を通して把握した須坂の町並みの特徴や価値、さらには重伝建選定後のこれからのまちづくりに関して、学識経験者や地域住民、行政のそれぞれの立場でパネルディスカッションを行います。

裏面へつづく



(1) 基調講演

西村 幸夫 氏(國學院大學観光まちづくり学部学部長・教授)

1952年福岡県生まれ。東京大学工学部都市工学部都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授、2011年～2013年東京大学副学長、2013年～2016年東京大学先端科学技術研究センター所長。海外では、アジア工科大学助教授(バンコク)、MIT 客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。工学博士。

土本 俊和 氏(信州大学工学部教授 伝建保存審議会会長)

1961年東京都生まれ。東京大学工学部建築学科卒、同大学院修了。株式会社国建建築設計首里城復元グループ勤務、土本建築都市研究室を開設。その後、東京工芸大学助手、信州大学助手、助教授を経て、2001年より信州大学工学部教授。海外では、レスター大学都市史研究センター研究員(イギリス)などを歴任。工学博士。

(2) パネルディスカッション

「重伝建選定までの取り組みとこれからのまちづくりについて」

コーディネーター：渡邊 泰 氏(元塩尻市文化財担当課長 伝建保存審議会委員)

パネリスト：梅干野 成央 氏(信州大学工学部准教授 伝建保存審議会委員)

小林 義則 氏(景観づくりの会理事長 伝建保存審議会副会長)

山上 万里奈 氏(ゲストハウス蔵代表)

梅津 章子 氏(文化庁文化財第二課主任文化財調査官)

三木 正夫 (須坂市長)

2 須坂の魅力紹介「旧小田切家住宅」



旧小田切家住宅は春木町にあり、長野県宝に指定されています。須坂の大糶屋と呼ばれた家で、近世には、糶、油、蚕糸、呉服商を営み、町年寄、須坂藩の御用達などをつとめました。近代になると、蚕業に深く関わりました。敷地内には裏川用水が流れ、水車小屋がありますが、水車による器械製糸の試し繰りをしたともみられ、須坂における近代製糸業の産業革命発祥の地といわれています。須坂は県下では製糸業の後進地でしたが、製糸業に関わる人々によって急激な発展を遂げ、世界に知られる生糸の町として栄えました。

重伝建地区について、詳しくは下記二次元コードを読み込んでホームページからご確認ください。

長きにわたりお支えいただきありがとうございます。シンポジウムには、これまでご協力いただいた皆様はもちろんのこと、興味のある方にはぜひご参加いただきたいと思います。ご参加をお待ちしております。

また、平時におきましても、お気づきの点などありましたら気兼ねなくご連絡ください。

編集・発行・問合せ
須坂市 社会共創部 文化スポーツ課
重伝建推進係 担当：栗田、小西、山田
☎026-248-9027

詳しくはこちらから

